



ようこ ぼとう葉子 議員

議員のしごとやれ
さまざまな支援を使い、
コロナ禍を乗り切りたい

生活保護

Q 家族への扶養照会の実施状況は

A 個別に検討し適正に事務を行っている



議員 コロナ対策により仕事を失った生活困窮者が増えている。生活保護の受給申請では、家族に知られたくないという理由や、住居の確保が難しく申請できないというケースがある①家族への扶養照会の実施状況は②無料低額宿泊所ではなく、自立した生活を送ることができず住居を積極的に紹介するべき。

福祉部長 ①緊急性を勘案し、生命、生活を優先して申請を受け付けている。受給決定後、支援の可能性について家族への照会を行うことになるが、国の通知でも、扶養義務者との関係性などに課題がある場合や、その他の親族についても個別に検討を行った上であれば、扶養の可能性がないものと考えてよいとされており、適正に事

務を行っている②住まいが無い方には無料低額宿泊所を案内しているが、支援を行っていく中で民間賃貸住宅への転宅支援を行っている。

議員 申請をためらうことのないよう、市のホームページに厚生労働省の「よくある誤解」のページへのリンクを掲載し、内容を周知してはどうか。

福祉部長 内容を整理し対応する。

- 扶養義務者の扶養は保護に優先しますが、例えば、同居していない親族に相談してからでない申請できない、ということはありません。
- 住むところがない人でも申請できます。
・まずは現在いる場所のお近くの福祉事務所へご相談ください。
・例えば、施設に入居することに同意することが申請の条件ということはありません。
- 持ち家がある人でも申請できます。
・利用する資産を活用することは保護の要件ですが、居住用の持ち家については、保有が認められる場合があります。まずはご相談ください。
- 必要な書類が揃っていないでも申請は出来ます。福祉事務所とご相談ください。

▲生活保護の申請についてよくある誤解 (厚生労働省ホームページより)

産後うつ 予防

Q 相談窓口体制の充実を

A オンラインによる面接相談を実施



議員 コロナ禍における産後の母親の現状は。

福祉部長 収入減や里帰り出産ができないなど、コロナの影響による相談が寄せられており、産後うつへのリスクは増加していると推測。

議員 妊娠・出産に関する相談窓口の充実について伺う。

福祉部長 令和3年度からの新たな取り組みとして、母子健康手帳発行窓口の福祉保健センター一本化により、ほぼすべての妊婦の不安や疑問に保健師が直接対応することが可能となる。また、オンラインによる面接相談により、外出による感染リスクが気になる方や、家事などで来所が難しい方でも相談できる。

スを拡大してはどうか。

福祉部長 緊急通報に加え、毎月のお伺い電話や、24時間対応の健康相談など、見守りサービスが特徴。引き続きサービスを継続する。

その他の質問

Q 女性防災リーダーの育成を。

A 地域の防災組織への女性参画に取り組む。

議員 コロナ禍における高齢者の見守りを強化しては

議員 緊急通報システムのサービ



みわこ 三輪なお子 議員

議員のしごとやれ
妊娠・出産・育児、何でも気軽に相談を！



オンライン化が予定されている妊婦面談

一般質問



あそうかずひで 浅生和英 議員

議員のしごとやれ
小学校区毎にボール公園があるといいなあ

子どもの遊び場

Q ボール遊びができる場所の設置を

A 住民の深い理解を得る必要がある



議員 ボール遊びができる場所に偏りがあり、少ないので設置を①現状は②青少年の広場などの推進を③学校施設開放の現状は④公園をボール公園としては⑤ボール遊びができる場所の情報発信を。

こども青少年部長 ①屋外4施設、屋内4施設の計8カ所②新曽地区に新設した。設置要望は多いが、用地確保や住民理解で拡充は厳しい。引き続き情報収集を行う③遊び場開放は学校休業日の16時から18時まで。平日放課後は帰宅後から夕焼けチャームまで利用可能④遊び場MAPを市ホームページに掲載するよう関係課とも協議していきたい。

環境経済部長 ④施設改修や利用マナーに加え、公園に隣接する住民の深い理解を得る必要がある。



▲戸田の遊び場MAP (広報戸田市令和2年8月号より)

子供支援

Q コロナ禍での子ども食堂などの支援は

A フードパントリー実施など機運は高まる



議員 コロナ禍で食の支援の機会や居場所をなくした子供たちへの子ども食堂などの支援が重要と、昨年の9月議会で発言した。現状は。

こども青少年部長 昨年度が開催した勉強会の参加者が団体を立ち上げ、3密を避けて*フードパントリーを実施するなど機運は盛り上がりを見せている。

議員 主催団体からはボランティアが足りないという声がある一方で、ボランティア希望の方も増えている。市でマッチングを行っていることを市民に分かりやすく周知してもらいたい。

デジタル市役所の推進を

議員 私はICT企業での仕事経験を生かし、見守り防犯カメラな

ど、行政のICT化を提案し、実現してきた。以前提案した「市民の声データベース」の実現を。

総務部長 第3次情報化推進計画において、令和3年度の構築を計画している。これにより、各課で管理していた市民の問い合わせや要望などをデータベース化し、全庁的な共有が可能となる。



▲市内各所で実施されたフードパントリー

議員のしごとやれ
社会全体で子供たちの支援を！

*フードパントリー…経済的な困窮などにより十分な食事をとることが出来ない人や世帯に対して無料で食料品などを配布する取り組み